

11・14 花いっぱい運動 (美化委員会と有志の皆さん)



11月14日(月)、初冬の気配を感じさせる風が吹く曇り空の中、相川先生、桐生先生のご指導のもと神谷委員長を中心に美化委員による“花いっぱい運動”が行われました。和久田先生や有志のみなさんも参加、賑やかにお花を植えていきました。

主事室では、花壇の除草と肥料を入れる等の土作り、専門委員会の参加を通して美化委員会と一体となって運動を盛り上げてきました。

今年は、委員会での協議の結果、花植えだけでなく除草、水やりなど“植物の成長を感じる活動”とすることになりました。

本校OBの方より提供いただいた“ビオラ”の他、“パンジー”“ノースポール”“カラコエ”“ペンタス”“なでしこ”など。成長が楽しみです。



樹木の剪定(せんてい)を進めています！

本年は都心でも超大型台風が、交通網を麻痺させるなど大きな爪痕を残してゆきました。私の住む多摩市の小中学校では、全校で1500万円もの倒木による被害がでました。

これを受けて本校でも、皆さんの安全を第一に考え、樹木・枯れ枝の点検を早急に行い、その処理作業を危険度の高いものから実行しています。

剪定(体育館前 ケヤキ編)



①落とす枝の上部にロープを掛けます。



②安全帯を取付け枝を切ってゆきます。



③狙った場所にロープで枝を落とします。ドスンっと凄い音！校長先生も、安全を確認。

←④職員総出で枝の片付け。実は、この作業が一番大変(汗)



1日の台風で、90ℓゴミ袋10個分の落ち葉がでました。



白アリの猛威！！

本校自慢の白樺をはじめネズミモチの木等に被害がでました。根っこから穴があき、危険な状態でした。切り倒した後、駆除してもらいました。



剪定(Wikipediaより)

剪定(せんてい)とは樹木の枝を切り、形を整えたり、風通しを良くする事。庭木の手入れとして行われる。見た目を美しくするのみでなく、養分を効率よく利用させて成長を促進したり、病害虫の繁殖を予防する効果がある。

美化委員会と協力して、トイレの美化を進めています。

トイレの正しい清掃方法と道具の扱いについて、写真入りで解説しトイレに掲示してあります。

また、美化委員の皆さんが毎週トイレにあるチェックリストをつけてくれています。清掃の担当にあたった班は、確認して下さい。

トイレの使い方

トイレの清掃が完璧でも、1人ひとりの使い方が完璧でなければきれいなトイレは保てません。「次に入った人が、快適に！」なる使い方のテクニックには、どんな事があるでしょうか？考えてみましょう。

<トイレから出る。その前に>

その1 しっかり流れたか見届ける。

(意外と思いますが、水圧や便器の種類によって残っている事が多々、見受けられます。 次の人に見られるのは恥ずかしいですよね)

その2 休み明け・早朝は、水を一度流してから使用する

(乾いた便器には、汚れがつきやすくなっています)

その3 流した後の汚れをサッと拭き取り、もう一度流す

(汚れがついてしまったら、紙を2~30cm引出し汚れをふき取り流す。便座の場合は紙に少量の水をつけて拭き取り、もう一度乾いた紙で拭いた後流す。掃除用の柄のついたブラシも活用する)

★ひどい汚れを見つけたら、すぐに主事室に連絡してください★

扉を外し整頓された清掃道具



<前号のクイズの答え>

校庭の花壇の種はコスモスでした。

第1正解者は、3Aの長瀬匡彦先生でした。たくさんの御解答、ありがとうございました。